

# 「寺社巡り」

参拝記念の御朱印集めも  
楽しみのひとつです

有限会社 黒岩燃料店

代表取締役社長 **太田 三恵氏**



一参拝記念の御朱印集めも、楽しみのひとつだとか。

御朱印とは寺社やご本尊の名称、宝印などが記された印章で、受付に御朱印帳を預けて初穂料300円ほどを収めると、参拝帰りに受け取ることができます。8年ほど前に始めて、最初は山形の上杉神社、そして出羽三山神社、瑞巖寺、薬師寺、東大寺、成田山新勝寺、靖国神社、茨城の笠間神社、近くでは戸隠神社や安曇野の穂高神社と、これまで80ほどは集まりました。時々開いては、ずいぶん行ったなあ、またここに行きたいなあ、と。次に行きたいのは広島島の厳島神社。忙しい冬を乗り切って、出かけられる日が楽しみです。

## Profile

■太田 三恵(おおた・みつえ)

昭和32(1957)年5月生まれ。30代の頃から実家が営む同店を手伝い、平成25年に現職。趣味はほかにクラシック音楽鑑賞、美術鑑賞、時代小説を読むこと。

■有限会社 黒岩燃料店

灯油・ガスの販売、関連器具の販売及び設備工事。昭和20年代に、太田さんのお父様が薪炭販売店として創業。上高井郡高山村大字高井二ツ石4359-5。



会員の趣味を紹介するシリーズ。第十一回は有限会社黒岩燃料店代表取締役社長の太田三恵さんに、寺社巡りの魅力を聞いた。

一忙しい合間を縫って、よく寺社巡りに出かけになるそうですね。

もともと旅行好きで、暇を見つけては地域の旅行会や業界団体のツアーに出かけるんです。その中に神社仏閣の見学が含まれているものが結構あって、たびたび訪ねるうちに寺社参拝の楽しさを知りました。一番は、厳かな気持ちになれること。いまでも鮮明に覚えているのは、福井県にある曹洞宗大本山・永平寺での出来事で、開祖道元が修行の場として開いたこの寺は、山全体が静寂で独特の雰囲気包まれ、神様や仏様は目には見えないけれど確かにいらっしゃるんだなあと感じました。そうした敬虔な気持ちになる時間を過ごすことで、自分はいつもどこかで守られているんだなと、感謝の気持ちも湧いてくるんです。

一神仏に向き合う時間が、忙しい毎日の幸せにつながっていると。

昔から年寄りに、学校に行く前に必ずご先祖さまをお参りしなさいと言われてきました。いま仕事で毎日車を運転していて、ほんの少しタイミングがずれていれば事故に遭っていたかもしれないと思うことが時々ありますが、お参りして精神的に落ち着いてから出かけるのと慌てて出るとでは、導かれる方向が確かに違う。お参りするってそういうことなんじゃないかと最近思うんです。寺社参拝のマナーを書いた本に、お参りに行ったらまずお礼を言うようにとあったので、いつもそうしています。それからお願いごとをするときは住所と名前を言わないと神様が誰だかわからないとあったので、それも必ず忘れずに(笑)。